



いこいの家でも、自らの病気と日々向き合いながら頑張っている人たちがたくさんいます。参加したメンバー一人ひとりで、自分自身の取り扱い説明書を考えてみました。あるメンバーさんは、現在自分が精神的、肉体的にどの様な状態でい

るのかを把握でき、その事を用紙に書くことで客観的にセルフコントロールしやすくなると聞いていました。しかし、このWRAPは、障害のあるなしに関係なく、自己管理として役立つものだと認識しました。

障害があつても、今の自分を受けとめて人生を楽しく希望を持って前向きに過ごしてほしい、そして、メンバーさんと職員一同は横田さんの説明の仕方とやさしさうなしゃべり方にとてもいやされました。また、ぜひいこいの家に来て下さい。

